

2012年 SLカートミーティング車両規定

下表に設定した規定以外のクラスは、各主催者の独自開催クラスとなり、SLカートミーティング認定クラスとなりません。

クラス	エンジン規定			シャシー規定			タイヤ規定			最低重量(kg)	年齢 (当該年度)	出場資格	全国大会 開催						
	機種	改造	キャブレター	機種	リアアスル	Fブレーキ	メーカー	ドライ	ウエット										
1 カデット クラス	YAMAHA TRY カデット	日本国内仕様 KT100SEC クラッチ付き セルスターター付き	WB3A WB21 WB33 改造禁止 部品変更禁止 14.5Φmmテーパ ジョイント装着(品番指 定)	TRY	25Φmm以下 品番指定	禁止	YH	SL-J	SL-03	110Kg	小学2年生以上	SLカデットま たはSL-B	○						
2 カデット クラス	YAMAHA カデットオープン			SLO登録 ホイールベース 900mm～ 950mm チューブ径28 Φmm以下	30Φmm以下 全長960mm 以下 全幅1200mm 以下								○						
3 TIA フレイム クラス	YAMAHA TIAジュニア	日本国内仕様 KT100SEC クラッチ付き セルスターター付き	WB3A WB21 WB33 改造禁止 部品変更禁止 19.8Φmmテーパ ジョイント装着(品番指 定)	TIA 各モデル	40Φmm以下 品番指定								DL	SL-FD	SL-W2	130kg	小学5年～中学生	SLカデットま たはSL-B以 上	○
4 TIA フレイム クラス	YAMAHA TIA	日本国内仕様 KT100SD KT100SC KT100SEC ※中学2年生以下は、 SEC限定となります ※中学3年生以上は、 SLクラッチのみの装着 可	WB3A WB21 WB33 改造禁止 部品変更禁止 26Φmmジョイント装 着(品番指定)																一般市販
5 SS オープン クラス	YAMAHA SS			145Kg	小学6年生以上								○						
6 SS オープン クラス	YAMAHA スーパーSS	150Kg	30歳以上											○					

※1、YAMAHA TRYカデットクラスとYAMAHAカデットオープンの参加年齢上限を廃止いたしました。

※2、2012年より、全SLカートミーティングクラスはリアプロテクション必備といたします ※SL規定クラス外は対象外となります。

※3、YAMAHA スーパーSSクラスの最低重量は、地域によって145Kgから150Kgの範囲で開催可能です。但し、SL全国大会規定は最低150kgとなります。

注)学年・年齢は当該年度扱になります。 ※当該年度とは、その年にその学年や年齢になることです

2012年 SLカートミーティング 車両規定細則表

<シャシー規定> 注意：各段の、－印は左項目に同じという意味です

		YAMAHA TRY カデット		YAMAHA カデットオープン		YAMAHA TIAジュニア		YAMAHA TIA		YAMAHA SSオープン	
		YAMAHA SS		YAMAHA スーパーSS							
機種・メーカー	birel社製 TRYカートに限定	一般市販カデット用で、別表SLO登録カートに限定		birel社製 TIAモデルに限定【YAMAHA WT-1、WT-2、birel-TIA-WT、TIA-Ⅲ、TIA-Ⅳのいずれか】		一般市販カート					
骨格	基本骨格とはカラー塗装されたシートメインステーを除く部分を指し、(後付部品を除く)寸法、形状、材質の変更は禁止されますがクラック等の修理溶接は可。シートメインステー、シートサブステーの溶接、追加、位置変更は認められます。また、カラーリングの変更は可	←		←		←		←		←	
	スタビライザー等の補助装置の加工・追加装着は禁止	←		←		←		←		←	
	メインシートステー、シートサブステーの溶接、追加、位置変更は可	←		←		←		←		←	
	年式変更に伴う純正部品相互の交換は可 基本骨格、その他メインシートステー類の色変更は可	←		←		←		←		←	
車格	ホイールベース900mm以下、最大幅1200mm以下	ホイールベース900～950mm、最大幅1200mm以下		ホイールベース1040mm以下、最大幅1400mm以下		←		←		ホイールベース1270mm以下、最大幅1400mm以下	
外装品	メーカー純正外装品で改造、変更は禁止。ただし、旧型外装品を新型に変更することは可。またカラーリングの変更は可	←(但し、旧型サイドボックスタイプのTIAは一般市販品を装着可、改造は禁止)		←		←		←		←	
サイドBOXステー(バンパー)	サイドボックスステーの修理溶接、切削は可。スプリング取り付けのためのフックの位置変更は溶接でしっかり固定すれば可(機種によっては、メインフレームとサイドボックスステーをボルト貫通止めて可)	←		←		←		←		←	
フロアパネル	メーカー純正品を使用 ※補修可	←		←		←		←		←	
フロントバンパー	メーカー純正品のフロントバンパーで、サイズ、形状、材質の変更は禁止	←		←		←		←		←	
リアバンパー	※リアプロテクション必備に変更のため、記載事項がなくなりました	←		←		←		←		←	
リア防護バー	※リアプロテクション必備に変更のため、記載事項がなくなりました	←		←		←		←		←	
リアプロテクション	メーカー純正品のリアプロテクションを必備	←		←		←		←		←	
燃料タンク	燃料タンクは純正市販状態。4リットル以内でニップル等の位置変更は禁止	燃料タンクは純正市販状態 ※ニップル等の位置変更は禁止		燃料タンクは純正市販状態で8.5リットル以内 ※ニップル等の位置変更は禁止		←		←		燃料タンクは一般市販品であれば変更可 ※ニップル等の位置変更禁止	
シート	一般市販品で変更、加工可(但し、カーボン材質の使用は禁止)	←		←		←		←		←	
シートカラー	JAF規定同様の13平方センチまたは最小直径40mmのシート補強材(アルミ等の軽量金属または硬い樹脂など)を必備とする	←		←		←		←		←	
外装品・タイヤ位置規定	ウエットタイヤ装着時を除き、前輪はフロントフェアリング外装品の一番外端から1mm以上外に出ていること。また、後輪はサイドボックスより1mm以上外に出ていること	←		←		←		←		←	
ステアリング部 ヘアリソクンヤント(ハ)	ハンドル、ボス、スパーサー以外は変更、加工禁止 注)修理のため、溶接しているものは改造には含まない	←		←		←		←		←	
	メーカー純正品のシャフトを使用し、変更、加工禁止 注)身長に合わないシャフトを長さ調整のため、先端をカットすることのみ可	←		←		←		←		←	
ステアリングサポート部品	メーカー純正市販状態とし、ステアリングをサポートする装置に類するものは使用禁止	←		←		←		←		←	
ナックル	メーカー純正市販状態で改造、変更は禁止※修理溶接は改造に含めない	←		←		←		←		←	
タイロッド	メーカー純正品で改造、変更禁止	←		←		←		←		←	
アライメントアジャスター	装着禁止	←		←		←		←		←	
ブレーキ装置	メーカー純正市販状態で改造、変更、加工禁止	←		←		←		←		←	
パッド	ブレーキパッドは純正品使用	←		←		←		←		←	
ブレーキハブ	メーカー純正品使用 ※改造、変更、加工禁止	←		←		←		←		←	
フロントブレーキ	フロントブレーキ装着禁止	←		←		←		←		←	
脱落防止部品	ブレーキパッドの脱落防止部品の変更は可	←		←		←		←		←	
ブレーキ冷却装置	一般名称:ブレーキダクト⇒空気の取り入れ口は全辺の合計が60cm以下で、空気通路は円形が望ましく円周または口径の辺の合計は30cm以下とし装着できる本体はブレーキ側1本のみとし、金属などの使用は禁止で柔軟なプラスチック加工品を装着すること※既製品、自己制作品の使用自由 ※本規則内に取り付け規定あり	←		←		←		←		←	
リアアクスル装置	メーカー純正品で改造、変更、加工禁止 リアアクスルはフリーライン25φmmの、Cタイプ(8150.60.01-C)	←		←		←		←		←	
ホイール	メーカー純正品アルミ ※改造、変更、加工禁止 純正ビートストッパー用の穴はビートストッパーボルトを装着するか、穴からエアが漏れないようブラインドボルトによって埋めても可 センター締め1箇所のベアリングタイプ	←		←		←		←		←	
取り付け穴数	ホイールリム幅フロント:120mm リア:150mm(公差+1mm)以下	←		←		←		←		←	
タイヤ・ドライホイール幅	ホイールリム幅フロント:130mm リア:180mm(公差+1mm)以下	←		←		←		←		←	
タイヤ・ウエットホイール幅	フリーライン6200.00.07または6200.00.08純正品を使用	←		←		←		←		←	
ホイールハブ	※改造禁止 ※スタッドボルト交換可 フロントホイールハブ使用禁止	←		←		←		←		←	
スプロケットハブ	メーカー純正品アルミ ※改造、変更、加工禁止	←		←		←		←		←	
ドライブスプロケット	SECに装着するドライブスプロケットはフリーラインSLクラッチ純正品に限る	←		←		←		←		←	
チャンバーブラケットステー	純正装着品、またはオプションの20.10420.06装着可 ※補強装備	←		←		←		←		←	
上記以外の項目で市販状態(純正部品)から変更しても良い部品・用品等	ステアリング(ハンドル)、リアスプロケット、チェーン チェーンガード(リンクするクラッチカバーは下記エンジン項参照)、ゼッケンプレート(リアプロテクション装備の場合は装着なし) フュエルフィルター、シャフトキー類、ベアリング類 エンジンマウント(オフセットプレート、スライドマウント含む)、ペダル類(アクセル、ブレーキ) ステアー類(シート用、チャンバー用、カウル用、チェーンガード用) ホイールカラー、ナックルカラー、偏芯カラー、ナックルスパーサー等 ジョイントユニバーサル(ピロボール) ブッシュ(フロントパネル用、フロアパネル用、シート用、チャンバーブラケット用、バンパー用等) ダンパー() ラバー、ゴム類() ワイヤー、ホース(ブレーキ以外) ボルト類(キングピンを含む)、ナット類、ワッシャー類、クリップ類、ピン類、スプリング類	←		←		←		←		←	
カーボン部品	カーボンファイバー材質の部品は一切使用禁止	←		←		←		←		←	
空力装置	シャシー市販状態には装備していない、空力整流板(ウイング等)の追加取り付けは禁止(但し、キャブレター吸気用のレインカバーやブレーキキャリアー雨よけのテープ等は除く)	←		←		←		←		←	
安全ガードなど	フレーム、ブレーキローター、チェーン、スプロケットを防護するための安全ガード装備品は一般市販品であれば使用可。 ※一般市販品と確認出来ない場合、車検で失格することがあります。 なお、一般市販品であってもその装置がシャシー性能の変化や向上(アドバンテージ)を目的としたものとみなされるものは使用できません。 ※その場合、車検委員の判断で、その部品などの取り外しを指示します。また、レース後に違反が判明した場合は失格となります。	←		←		←		←		←	
補強装備など	チャンバーブラケットステーの変更は各クラス項目の範囲で認められますが、ベアリングホルダー部全体から延長ステーを出すことは認められません。 ※一般市販品と確認出来ない場合、車検で失格することがあります。ベアリング部にスパーサーなどを入れて垂直や水平を出すことは認められますが、ベアリングホルダー外側全体を補強したり、補強板等を装着することは不可となります。 なお、一般市販品であってもその装置がシャシー性能の変化や向上(アドバンテージ)を目的としたものとみなされるものは使用できません。 ※その場合、車検委員の判断で、その部品などの取り外しを指示します。また、レース後に違反が判明した場合は失格となります。 注)不明確な部品は主催者・技術委員に問い合わせでご確認をお願いします	←		←		←		←		←	
市販オプションなど	一般市販オプション部品は一切使用禁止	←		←		←		←		←	

2012年 SLカートミーティング 車両規定細則表

<エンジン規定> 注意：各段の、← 印は左項目に同じという意味です

		YAMAHA SSオープン				
エンジン	YAMAHA TRY カデット	YAMAHA カデットオープン	YAMAHA TIAジュニア	YAMAHA TIA	YAMAHA SS	YAMAHA スーパーSS
エンジン	ヤマハ KT100SEC	ヤマハ KT100SEC	ヤマハ KT100SEC	ヤマハ KT100SD, SC, SECのいずれかで14才(中学2年生)以下はSECに限定		
エンジン型式	ヤマハ純正品：7YA・7YB・7YD・7YE・7YF・7YT・7YU型に限りです。(787・7F6・7T3・7ET・7GL・7MA型は使用出来ません)					
シリンダーヘッド	ヤマハ純正品で、YAMAHA浮文字があり、改造防止のフライス加工を追加したものに限りです。					
クランクケース	ヤマハ純正品：7YA・7YB・7YD・7YE・7YF・7YG・7YT・7YUの打刻とナンバーがあり、かつ、ケース底部に"7ET"の浮文字があるものに限りです。 ※部品販売品で型番の打刻がないものは、3桁以上の数字を打刻し型番とします					
クランクシャフト	ヤマハ純正品のKT100用(7YA・7YB・7YT・7YP)と、FP用(7YG)および、SP用(J67)いずれかが使用出来ます。また、KT用、SP用のクランクシャフト大端ベアリングおよびクランクサイドベアリングの使用が認められます。					
ピストン	ヤマハ純正品：787-1163※-15(または05)、787-1163※-14(または04)、787-1163※-13(または03)品、および7YG(FP用)、J67(SP用)ピストンのヤマハ純正品使用が認められます。また、7YGピストン、J67ピストン、787-1163※-13(または03)のピストンと、新ピストンピン「J67-11633-00」の組み合わせは不可となります。					
ピストンリング	ヤマハ純正品の7YFから始まる品番のリングを使用すること。 リング本体の改造、切削、加工は一切禁止されます。					
ピストンピン	ヤマハ純正品：J67-11633-00または131-11633-00ピストンピンが使用出来ます。					
シリンダーヘッドガスケット	ヤマハ純正品で、0.5mmのシリンダーヘッドガスケットを3枚重ねて使用 ※3枚重ねた最低の厚み総計1.2mm以上あること	ヤマハ純正品使用で、最低の厚みが0.4mm以上あること		←	←	←
シリンダーベースガスケット	ヤマハ純正品のシリンダー(ベース)ガスケットは内径64.5mmまでのものは認めます。					
キャブレター	ワルボロ純正品：WB3A、WB21、WB33 改造禁止、部品変更禁止	←	←	←	←	←
インレットスプリング・ダイヤフラム	ヤマハ純正品：インレットスプリング(スプリングメーターリングレバー)は、738-14556-00、738-14556-10、738-14556-20、738-14556-30のいずれかを使用 ダイヤフラムアセンブリは、738-14545-00、789-14545-03のいずれかを使用					
マニホールド	ヤマハ純正品：7YA-13585-00	←	←	←	←	←
ジョイントキャブレター	ヤマハ純正品：14.5φmmテーパジョイント装着必備(黒色：7YU-13586-09) 公差±0.5mm以下	ヤマハ純正品：19.8φmmテーパジョイント装着必備(黒色：7YA-13586-00) 公差±0.5mm以下		ヤマハ純正品：26φmmジョイント装着必備(オレンジ色：787-13586-00) 公差±0.5mm以下		
アルミ・プレート	ヤマハ純正品のプレート1(品番：7YA-14346-00)は装着禁止 ※メーカー出荷状態で装着されている場合があるので取り外すこと			←	←	←
ジョイントエアクリーナー	ヤマハ純正品：7YF-14453-03	←	←	←	←	←
吸気消音器	CIK/FIA公認実績品または、ヤマハ純正品いずれも使用可。吸気孔の1つの穴径23φmm以下で、本体の切削・加工・改造禁止。また、エアフィルターが内蔵されているタイプのエアフィルターは純正状態で切削・加工・改造禁止					
プラグ	メーカーは自由。 但し、一般市販状態のネジ山長19MM以下のものに限る	←	←	←	←	←
プラグキャップ	ヤマハ純正品とし、改造禁止(他メーカーの部品接続禁止)	←	←	←	←	←
マグネット	ヤマハ純正品：TCIローターの品番 7YT-85650-20(現行装着品)または7YT-85650-00、01、10のいずれも使用可で改造禁止。現行品TCIローターの幅(厚さ)は33mm、公差±0.5mm、TCIローターの直径はΦ60mm公差-0.1mmのものであること。なお、TCIローター(7ET-85650-00：ローター幅29mm)は、KT100SD/SCのみに使用可とします。※寸法測定規定は本規則を参照のこと					
ドライブsprocket	SLクラッチ用のドライブsprocketはフリーラインSEC純正品の219×10T、11Tから選択			SLクラッチ用のドライブsprocketは、フリーラインSEC純正品か一般市販品(215または219)の使用可 ※歯数規定なし		
クラッチ-1	クラッチハウジング、クラッチシューに、回転を円滑にするためのオイルやグリース類を塗布することは禁止されます。					
クラッチ-2	ジュニア以下は、エンジンがSECのため、年齢関係なく、フリーライン純正品のSLクラッチを必備とします。 ※旧型、新型とも使用可で改造禁止			中学3年生以上は、SLクラッチだけの装着を可(改造禁止)とし、外部スターターによる始動を認めます。 ※但し、レース途中コース内でエンジンが停止した場合、エンジンが始動できないので再スタートは不可となります		
セルモーター部品	セルKITを装着する場合、メーカー純正品のセルスターターパーツを必備。改造禁止。バッテリー装着位置および取り付け方法は規定しませんが、バッテリーホルダー、ボルトおよびナットで強固に取り付けることとします。また、バッテリーおよびスタート/ストップスイッチに結線するワイヤーハーネスの変更・追加は認められます。					
クラッチカバー	クラッチ付エンジンは、フリーライン純正品のSLクラッチカバーまたはカバーハウジングを装着のこと。 また、SLクラッチにおいてはSL規則指定のSLクラッチプロテクターまたはSLクラッチサポートを必備とします。					
エキゾーストパイプ	ヤマハ純正品：品番 7YT-14610-00か改訂品の7YU-14610-00のいずれか ※但し、溶接、加工の入ったエキゾーストパイプの使用は禁止とします(排気センサー装着のための溶接は可とします。そこから発生したクラック補修溶接は加工とみられる場合があります)					
ジョイントエキゾースト	素材は金属性で破損しにくいものであり、内径に変化(テーパや段付加工品など)のあるものは禁止とします。(ジャバラともいう) また、ジョイントエキゾーストに保護や消音のためのプロテクターや保護材を取り付けても良い。但し、車検時に内径確認のため取り外しを命ぜられる場合があります。					
オーバーハング規定	エキゾーストパイプ(チャンバー)とジョイントエキゾースト(ジャバラ)を足した合計の長さは、リアプロテクションより外に出ない寸法とします。					

<装具規定> 注意：各段の、← 印は左項目に同じという意味です

		YAMAHA SSオープン				
ヘルメット	YAMAHA TRY カデット	YAMAHA カデットオープン	YAMAHA TIAジュニア	YAMAHA TIA	YAMAHA SS	YAMAHA スーパーSS
ヘルメット	CIK/FIA公認 ジュニア用ヘルメットを推奨		←	15才以下は、CIK/FIA公認 ジュニア用ヘルメットを推奨		
ネックガード	小学生は装着義務付け。(中学生以上は装着を推奨) 走行中に、ネックガードが外れた場合はオレンジボール旗が提示されます ※一般市販品でメーカー自由			装着を推奨		
リブプロテクター	小学生は装着義務付け。(中学生以上は装着を推奨) 走行中に、スーツの上に装着したリブプロテクターが外れた場合はオレンジボール旗が提示されます ※一般市販品でメーカー自由			装着を推奨		